

事業報告書

1. 事業の状況

(1) 概況

当財団は、「医薬品の開発をはじめとする生命科学に関する諸分野の研究を奨励し、もって国民の健康と福祉の向上に寄与する」ことを目的として昭和60年2月19日に厚生大臣の認可を受けて設立し、平成22年1月19日に内閣総理大臣の認定を受けて同2月1日公益財団法人に移行した。

平成27年度は、基本財産として保有する大正製薬ホールディングス株式会社株式に対する配当金収入を活用し、わが国の企業をベースとする財団としては最大規模の事業を行った。

- (イ) 研究助成、海外留学助成を引続き高水準で実施した。
- (ロ) 研究業績褒賞を行った。
- (ハ) 6月12日に上原記念生命科学財団設立30周年記念講演会を開催し、「30年史」を刊行した。
- (ニ) 7月8日に第9回特定研究助成金「生体を見る・操る新技術の開発」に係る研究会を開催した。
- (ホ) 8月25日に組織委員会を開催し、第12回国際シンポジウムの準備を進めた。
- (ヘ) 定例刊行物である「研究報告集Vol. 29 2015」、「一年のあゆみ平成26年度版」および「平成27年度上原賞受賞講演録」を作成した。

(2) 各種助成金

平成27年3月11日開催の理事会で決定した事業計画に基づいて、同年5月22日開催の理事会で「交付対象者選出に必要な事項」を決定し、6月10日より募集を行った。

応募申請は、9月4日に締切り、各選考委員が書面審査の上、11月10日及び11月24日に選考委員会を開催して選考を行った。

この選考結果を12月18日開催の理事会・評議員会で検討して、交付対象者ならびに交付金額を決定し、直ちに応募者に通知した。

採択者に対する助成金の支払いを、平成28年1月より開始した。

(イ) 第9回特定研究助成金

平成26年度の決定に基づき、「生体を見る・操る新技術の開発」を行う研究者19名に平成27年度分の助成金を交付した。

(1件当たりの助成金)

	平成26年度	27年度	28年度	助成金合計
特定研究助成A 助成件数6件	千円 5,000	千円 5,000	千円 5,000	千円 15,000
同 B 助成件数13件	〃 3,000	〃 3,000	〃 3,000	〃 9,000

(ロ) 研究助成金 (1件5,000千円)

90件の助成を決定した。

(ハ) 研究推進特別奨励金 (1件4,000千円)

10件の助成を決定した。

(ニ) 研究奨励金 (若手研究者対象1件2,000千円)

90件の助成を決定した。

(ホ) 海外留学助成金

本年度も、リサーチフェローシップとポストドクトラルフェローシップの2種目とし、合わせて119件採択した。その内8件を2年間助成とした。

(ヘ) 来日研究生助成金

10件の助成を決定した。

(ト) 国際シンポジウム開催助成金 (1件1,000千円以内)

わが国で開催される国際研究集会に39件の助成を決定した。

(3) 研究業績褒賞 (上原賞)

生命科学に関する研究で、顕著な功績をあげ、引続き活躍中の研究者を主要学会、当財団役員・評議員・諮問委員および既上原賞受賞者に推薦をお願いし、21名の候補者のなかから2回の選考委員会での厳正、慎重な討議の結果、東京大学分子細胞生物学研究所教授の豊島近氏、東京大学大学院医学系研究科教授の水島昇氏と大阪大学大学院生命機能研究科・医学系研究科 大阪大学特別教授の吉森保氏 (水島氏と吉森氏は共同受賞) を受賞者に決定した。

(4) 上原記念生命科学財団設立30周年記念講演会

財団設立30周年を記念し、講演会を以下の通り開催した。

・日時

平成27年6月12日 16:30~19:30

・会場

ザ・プリンス パークタワー東京 (東京都港区芝公園)

・講演内容

第1部 パネルディスカッション

「健康長寿社会のための医学・医療を考える」

座長：井村裕夫（先端医療振興財団理事長）

講演：島崎謙治（政策研究大学院大学教授）

本庶 佑（静岡県公立大学法人理事長）

永井良三（自治医科大学学長）

山海嘉之（筑波大学大学院教授）

第2部 記念講演

「iPS細胞がつくる新しい医学」

座長：中西重忠（京都大学名誉教授）

講演：山中伸弥（京都大学iPS細胞研究所所長・教授）

・参加者 約800名

（ 5 ） 刊行物の発行

（イ） 財団設立30周年を記念し、「30年史」を作成した。

（ロ） 第11回国際シンポジウムプロシーディング「Innovative Medicine : Basic Research and Development」を刊行した。

（ハ） 平成25年度の研究助成金および同奨励金受領者等よりweb入稿された研究経過報告書を取りまとめ、「上原記念生命科学財団研究報告集Vol. 29 2015」を刊行した。

（ニ） 当財団の年報「平成26年度上原記念生命科学財団一年のあゆみ」を作成した。

（ホ） 「平成27年度上原賞受賞講演録」を作成し、贈呈式出席者に配付した。

（ 6 ） その他

海外で開催される国際研究集会に対する助成に関しては、所定の審査手続きを経て、「第13回日米シンポジウム ドラッグデリバリーシステム」と「第10回日米癌合同会議」にそれぞれ1万米ドルの助成（寄付）を行った。

助 成 金 の 内 訳

＜ 贈 呈 決 定 額 ＞

(金額単位：千円)

	助成金の名称	助成の対象者	1件当たりの助成金額	応募件数	助成件数	総助成額
定款第5条第1号 研究助成	第9回特定研究助成金	「生体を見る・操る新技術の開発」を行う研究者	(A) 15,000千円 (B) 9,000		6 13	} 207,000千円 〔 本年度 〕 69,000
	研究助成金	単独・共同研究等 いずれでも可、年齢不問	5,000	353	90	
	研究推進特別奨励金	平成25年4月以降に 独立した研究室又は チームを立ち上げた 教授(昭和45年4月1日 以降出生の者)	4,000	22	10	40,000
	研究奨励金	昭和53年4月1日以降 出生の者、但し6年 制学部出身者は昭和 51年4月1日以降出生 の者	2,000	254	90	180,000
同条第3号 派遣及び 招聘の助成	海外留学助成金 リサーチフェローシップ	年齢基準等研究奨励 金と同じ	4,000以内	283	79	270,200
	ポストドクトラル フェローシップ	昭和57年4月1日以降 出生の者で博士号取得 直後の無所得者	同上	97	40	144,000
	来日研究生助成金	わが国の大学院博士 課程に新たに入学する ために来日する研究者	奨学金月額 150	14	10	34,650 (支払は一部来期以降)
同条第4号 シンポジウムの助成	国際シンポジウム 開催助成金	わが国で開催される 国際研究集会	1,000以内	45	39	30,000

褒 賞 の 内 訳

	褒賞の名称	褒賞の対象	1件当たりの褒賞	被推薦件数	褒賞件数	副賞の総額
定款第5条第2号 研究業績褒賞	上原賞	顕著な功績をあげ 活躍中の研究者	正賞 金牌 副賞 20,000千円	26	2	40,000千円